

第2回我孫子市地域コミュニティ活性化基本方針策定委員会 会議概要

1. 日 時：平成24年7月28日（土） 9時30分から12時00分
2. 場 所：議会棟第一委員会室
3. 出席委員：坂口委員長/牛尾副委員長/荒井委員/石井委員/金川委員
上村委員/倉橋委員/小林委員/近藤委員/佐々木委員
新保委員/鈴木委員/田島委員/多田委員/服部委員/早川委員
山家委員/吉田委員/吉村委員/渡邊委員
4. 事務局出席者：枝村市民生活部長/四家市民活動支援課長/渡辺主幹
小池主査長/浅海主任/岩上主事/渡邊主事
5. 会議内容
 1. コミュニティづくりに関する庁内調査について
 2. 作業部会員の決定について
 3. 自治会等へのアンケートについて
 4. 地域コミュニティに関する勉強会
講師：岩崎恭典氏（四日市大学総合政策学部教授）
 5. 次回会議の進め方について
 6. 次回の日程について
6. 傍聴人及び発言者の数：傍聴人4人 発言者の数1人
7. 決定事項
 - ・作業部会の構成メンバーは、新井委員、上村委員、倉橋委員、小林委員、近藤委員、新保委員、山家委員、渡邊委員。
(全会一致)
 - ・作業部会の委員長に山家委員、副委員長に新保委員。
(作業部会内全会一致)

◆議事の内容

●コミュニティづくりに関する庁内調査について	
委員長	何かご意見があればお願いします。
委員	庁内を対象となると、かなり意見の偏った調査になるのではと懸念していますが、大丈夫ですか。
事務局	庁内検討委員会は21課で構成しておりますが、それ以外の課でも市民の方との関わりのなかでの事業を実施しているので、それらもしっかり押さえて偏りのないようにしたいと思います。
委員	調査の対象に出前講座は入らないのですか。
事務局	調査の対象と書いてありますが、これらは主な事業例として、庁内検討委員がコミュニティづくりに関する事業としてイメージできるよう挙げただけのものです。当然、ここに挙がっているものだけでなく、その他の事業も入ります。
委員	提案ですが、「コミュニティづくりに関する庁内調査について」の資料の概要のところを実施内容と実施規模とありますが、実施規模のところは、予算額か、もしくは関わった人数で調査するとよいと思います。
事務局	実施規模のところは、予算や実績、その事業に関わっている職員の人数を詳しく書くことになっています。
委員	いろいろと検討する活動が書いてありますが、たとえば補助金の項目では、それぞれの問題について、この事業の補助金の金額を増やすか減らすか等を、われわれの考えとして検討するということですか。
事務局	この調査は、コミュニティを活性化していくうえで、市民の皆さんの活動だけではなく、庁内の様々な制度や事業についても、どうしたら良いかを議論していただくためのものです。回収された調査票をもとに、この策定委員会の中で、今後の方向性を皆さんで議論していただきたいと思っています。

委員	このアンケートはどれくらい遡って調査してもらえるのですか。
事務局	基本は現在行われている事業としています。今後のことを検討する一つの材料にするものであるため、遡っても2, 3年と考えています。
委員	行政の方の担当が変わったり、行政の組織が変わったおかげで、市民活動自体がつぶれてしまったものが過去にいくつもあります。活性化をしたいがために作った組織なのに、それらを行政がつぶしてしまったという例を、これまでたくさん見てきました。それらについてきちんと調査していただきたいです。
事務局	役所側の都合でなくなってしまった事業もあると思いますので、この庁内調査の中でしっかり調査していきたいと思います。
委員	調査項目の課題のところに入ると思いますが、コミュニティづくりについて、縦割りの各コミュニティではなくて、組織同士の連携が大きな課題になると思うので、この点についても項目をたてて、他の団体との連携についての考え方や要望について聞いたらいいと思います。
事務局	各課でこの調査を行ってまいります。事務局の方で一旦確認して、足りない点などあれば再度聞き取りをしながら、最終的にこの調査票を完成させるので、ご意見があれば、課題の部分は押さえていきたいと思います。
委員	この調査の結果は委員全てに事前に配っていただけますか。かなり膨大な量の資料になると思いますので、当日配布だと精査仕切れません。
事務局	第三回の策定委員会では、事前に資料をお渡ししたいと思います。
●作業部会委員の決定について	
委員長	第一回目に事務局から策定体制について説明がありましたが、基本方針を20名で議論していくのは難しいということで、策定委員会のほかに7名程度で構成する作業

	部会を設けることになっています。作業部会に入ってもよい方は意思表示をお願いします。
事務局	今回、作業部会を決めるにあたりまして、皆様に積極的に入っていただきたいのですが、スケジュールがタイトな中での会議の参加は、皆様のご都合もあるかと思ひまして、事務局の方で、作業部会に関わっていただきたい方に事前に打診をしています。事務局案について、皆様のご了解をいただけるようでしたら、打診させていただいた方々で作業部会を設けたいと思っています。
委員長	ご意見のある方はいらっしゃいますか。
委員	事務局案はバランスを考えて選んでいるのですか。まちづくり協議会の方が多く来ていらっしゃいますが、地域とのバランスなどを考えているのであれば、私としては異議はないです。
事務局	今回は、地域に関わる方と分野別で出てきている方といますので、事務局の中でバランスを取っています。また、男女のバランスも考慮しています。
委員長	それでは、事務局案の提示をお願いします。
事務局	事務局案をご提示させていただきます。席で並んでいる順番で申し上げます。荒井さん、上村さん、小林さん、近藤さん、倉橋さん、新保さん、山家さん、渡邊さんの8名で打診させていただいています。
委員長	今の案でご意見のある方はお願いいたします。よろしければ拍手をお願いいたします。
	【全会一致】
事務局	作業部会の中でも部会長と副部会長を決めさせていただきます。作業部会の方は、この策定委員会が終わった後にお集まりください。よろしくをお願いいたします。
●自治会等へのアンケートについて	
委員	調査対象団体の中に青少年相談員が入っていません。他の団体と組織的な特徴が違うけれども、どこかに入っていますか。

事務局	これはあくまで案ですので、この団体についても調査が必要ではないかなどの意見がありましたら、作業部会で検討したいと思っています。
委員長	それでは、特に作業部会に入っていない方で、ご意見がありましたら、お願いいたします。
委員	調査対象団体について、地域にはボランティアの会があります。ボランティアの会は、コミュニティに関して活動していると思いますが、これはどこかに入っていますか。
事務局	ボランティア団体は、市民活動団体に入ってくると思います。
委員	調査項目はこれでいいと思いますが、調査項目（案）の（２）団体の活動の中の⑧「活動上の課題への取組み」の項目について、その前の項目で人の問題、お金の問題はある程度わかるので、その他の情報や場所の問題など、分けた方がいいのではないのでしょうか。
事務局	それについても、作業部会の方で検討したいと思っています。
●次回会議の進め方について	
事務局	第三回策定委員会では、庁内調査の報告とアンケート調査の案について、また、各委員の方々が感じている地域の課題や行政の施策への意見などのご報告をいただく機会を設けたいと思っています。各委員の方が記述できるシートをこちらで作成して、7月中にお送りしたいと思っています。シートを事前にご記入いただき、委員会で報告しあうような形で進めていきたいと思っています。
●次回の日程について	
	第三回策定委員会は、9月8日（土）9時30分から12時に第一委員会室にて開催。